

# 2025年度全日本強化選手選考会 東京都代表選手選考会 要項

日時：2026年2月上旬 14:00～14:30計量／15:30 試合開始

会場：未定

主催：公益財団法人東京都柔道連盟

主管：東京都高等学校体育連盟柔道専門部

## ■ 実施階級

- 男子：90kg級・100kg級
- 女子：70kg級・78kg級

## ■ 参加資格

1. 学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
2. 2025年度、公益財団法人東京都柔道連盟を経て、公益財団法人全日本柔道連盟に登録を完了した者。
3. 2007年4月2日以降に生まれた者（2025年4月2日現在、18歳未満であり、第1・2学年に在籍）同一学年の出場は1回限りとする。
4. 外国人留学生については、卒業を目的として入学していること（短期留学は認めない）。
5. 東京都高等学校体育連盟柔道専門部に加盟している生徒で、以下の本選考会参加資格を得た者に限る。（実施階級の成績による）
  - a. 【2025年5月17日実施】全国高等学校総合体育大会柔道競技大会東京都予選会：優勝・準優勝・第3位（2名）
  - b. 【2025年9月28日実施】関東高等学校選抜柔道大会東京都予選会：優勝・準優勝
  - c. 【2025年11月8～9日実施】関東高等学校選抜柔道大会：優勝・準優勝・第3位（2名）
  - d. 【2026年1月18日実施予定】全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会：優勝・準優勝

## ■ 試合方法

- 最新の国際柔道連盟試合審判規程ならびに公益財団法人全国高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項による。
  - 試合時間は3分間とする。
  - 「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」（「指導」差2）以上とする。

- 試合終了時に得点差がない場合、もしくは「指導」差が1つ以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は「有効」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。
  - 試合はトーナメント戦で行い、決勝戦・敗者復活戦は行わない。
  - 各階級上位2名を東京都代表選手に選出する。
- 

## ■ 参加申込

- 締切：2026年2月6日（金）正午
  - 参加費：なし
- 

## ■ 服装

- 試合者は下記規格の白柔道衣を着用すること。
    - 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣を着用すること。
    - 国際柔道連盟公認マークまたは全柔連認証番号ラベル（“JU”と4桁の数字が入ったラベル）がついている帯を着用すること。
    - 全柔連柔道衣規格合格品のリストは全柔連HPを参照すること。
    - 柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。
  - ゼッケンは、各自で下記の要領にて必ず縫い付けること。
    - 布地は白色とし、苗字を上部2/3、所属を下部1/3に記載すること。
    - 書体は楷書体とし、ゴシック体または明朝体を用いること。
    - 男子は黒文字、女子は赤文字とする。
    - サイズは、横30cm～35cm、縦25cm～30cm。
    - 後ろ襟から5～10cm下部に縫い付け、対角線にも強い糸で縫い付けること。
- 

## ■ 表彰

- 実施しない
- 

## ■ その他

- 皮膚真菌症（トンズラーン感染症）について、発症の有無を各チームの責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。選考会時に感染が発覚した場合は、選考会への出場ができない場合もある。
- 選考会にて出場選手の傷害保険に加入し、その費用を負担する。

- 本選考会の会場において事故が発生した場合、予め主催者が手配した医師、看護師等の医療関係者が応急処置を行ったり、医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い（または行わないことがあるが）、これらの処置・判断等について故意または重過失が無い限り主催者、医療関係者は責任を負話ない。
- 脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。
  - 選考会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。選考会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該選考会に出場することは認めない。（受傷した時点で必ず専門医を受診すること）
  - 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
  - 上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事業課へ事故報告書を提出すること。
- 個人情報、肖像権の取り扱いについて
  - 参加申込フォームに記載された個人情報、競技結果、選考会に撮影された写真、または動画等の映像が、選考会プログラム、競技会場内外の掲示板等、ホームページに掲載される場合がある。
  - 全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
  - 選考会時に撮影する映像（ケアシステム等）を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。
  - 参加申込用紙に記載された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。
  - 参加申込用紙の回答により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。